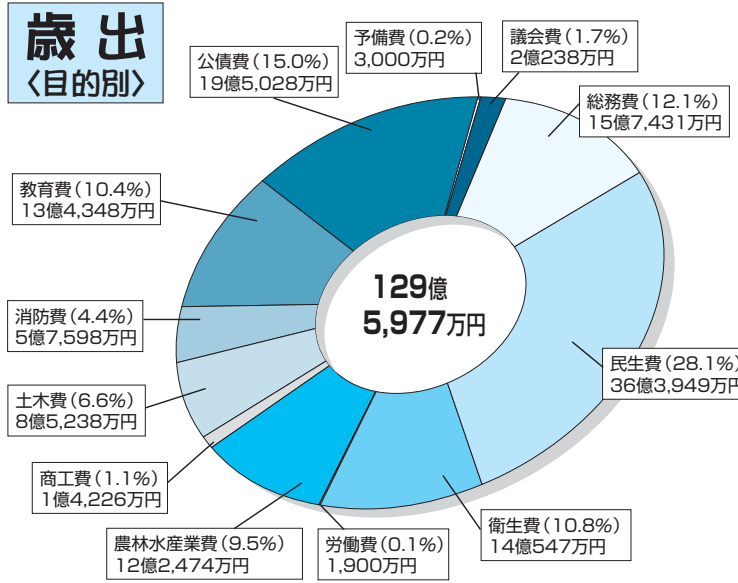
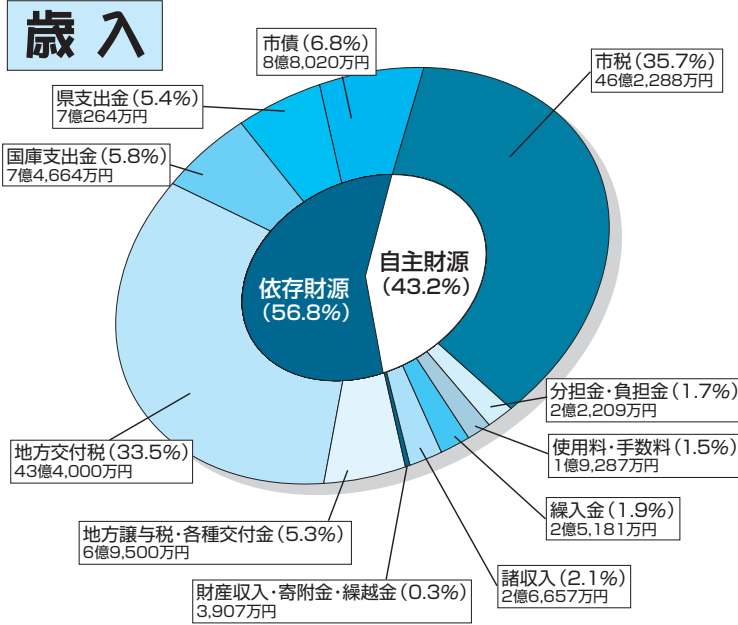


一般会計 129億5,977万円



財政健全化に向けた取組状況 (経常的経費等の削減等効果)

区分	効果額	主なもの
人件費の抑制	88	職員数の削減(8人減:一般会計及び特別会計) 特別職の給料カット拡大(市長25%・副市長20%・教育長17%・病院事業管理者12%) 管理職手当のカット(10~20%) 時間外勤務手当・投票所削減等選挙事務経費の抑制
事務事業及び内部 管理経費の見直し	217	上寺山楽々園調理業務の民間委託・松くい虫予防事業の廃止 小学校プール利用の見直し・旅費宿泊日当の見直し
各種補助金等の見直し	41	各種団体活動補助金等の見直し 火葬補助金の見直し・政務調査費交付金の見直し
受益者負担の適性化・ その他の収入確保	9	火葬場使用料の見直し 延長保育料・一時保育料の見直し
公債費等の抑制	8	公的資金補償金免除繰上償還に伴う影響額
計	363	

※普通会計ベース(特別会計及び事業会計に係るものは普通会計からの繰出額)

化に伴う調査経費、合併関連事業である市道南北線新設の工事費や美術館の整備に伴う設計経費などのほか、防災対策事業、子育て支援事業などに重点的に配分しました。また、高齢化の進展に伴い、年々増加する医療費や介護経費の社会保障費などにも対応した配分となっています。

2月号でもお知らせしているとおり、昨年10月に策定した中期財政健全化に向けた取り組み状況

政試算で、このままの行政運営を続けられれば、財政再建団体に転落する最悪の事態も想定されるなど、本市の財政は極めて厳しい状況となっています。

このため、財政健全化計画や公債費負担適正化計画を策定し、平成22年度にかけて集中的に財政の健全化に取り組みます。



特集 平成20年度市の予算と主な取り組み

安全・安心のまちづくり 財政の健全化を最優先に

平成20年度の当初予算についてお知らせします。

平成20年度の当初予算についてお知らせします。

厳しい財政状況が続く中で、昨年度に引き続き、市の最優先課題である財政の健全化を積極的に進めながら、限られた財源を重点的に効率的に配分し、安全・安心のまちづくりをはじめ、福祉、環境及び教育施策などの円滑な実施を引き続き行うことを基本方針として予算を編成しました。

一方、歳出では、安全・安心のまちづくりのための全国瞬時警報システムの整備や教育施設の耐震